

カネノナルキ(カゲツ) (科名：ベンケイソウ科 属名：クラッスラ属)

和名：フチベニベンケイ (縁紅弁慶) その他の名前：成金草 (なりきんそう)

花月 (かげつ) 草丈：30cm～3m 主な開花期：12月-3月 原産地：南アフリカ



出典：ウィキペディア



### 名前の由来

名前の由来は、縁起のよい小判のような葉形がお金のように見えるからとか、新芽に5円玉の穴を通して鉢植えとして売られているからだとか、人によって言うことが違い、よく判りません。英語名の dollar plant をそのまま訳しただけかも知れません。その姿から成金草とも呼ばれます。日本には昭和の初めころ入ってきたといわれています。

小さな株によく花をつける花の咲きやすい系統と、大株にならないと咲きにくい系統があり、葉は緑一色のものから、白やピンク、紅色の斑入り品種、葉が巻いたり細くなったりする品種があります。

### カゲツ (花月) の水やりと肥料

○乾かし気味で管理する：カゲツはその太い茎や葉にたくさんの水分を蓄えている。その為、水やりを忘れてしまっても枯れたりはありません。逆に与え過ぎは根腐れの原因になります。植え込み材がしっかりと乾いてから与えるようにしましょう。

○液体肥料を与える：生育期 4～6月と 9～10月に液体肥料を水やりのタイミングで与える。

○カゲツの置き場所：日光にしっかりと当てるカゲツは日光の量が多少、少なくとも問題ないが、しっかりと日に当ててあげると株が丈夫になる。春秋冬はしっかりと日光に当てて、夏だけは半日陰などに移す。暖かい地域なら年間とおして屋外で管理できるが、冬は屋内に取り込んで窓際などで管理したほうがよい。